

〔科目名〕 進路指導の理論と方法	〔単位数〕 2 単位	〔科目区分〕 教職課程(必修科目)																					
〔担当者〕 内海 隆 (Uchiumi Takashi)	〔オフィス・アワー〕 時間: 授業の初回に提示する。 場所:	〔授業の方法〕 講義																					
〔科目の概要〕 高等学校における進路指導は、一人ひとりの生徒が自らの適性や興味を知ることによって、将来の進路を主体的に計画し選択できるよう導くことにある。 1999(平成 11)年の中央教育審議会答申でも、「キャリア教育」の観点から進路指導の重要性が取りあげられた。(ここでの「キャリア教育」とは、進路指導<キャリアガイダンス>と同じ内容ととらえてよい。) 本講義ではキャリア教育と進路指導の関係を踏まえながら、高校生レベルの進学指導や就職指導に終始することなく、生徒個人々の生き方、在り方、そして働き方に関わる進路指導全般について講義する。 なお、授業の展開にあたっては、講義形式だけでなく履修学生の教職をはじめとする自己の職業観の確立を念頭におきながら、自己分析等のエクササイズも取り入れて進める。																							
〔「授業科目群」・他の科目との関連付け〕・〔なぜ、学ぶ必要があるか・学んだことが、何に結びつくか〕 「職業に貴賤はないが、生き方には貴賤がある」ということを、履修学生のキャリア形成と「生きる力」に培われたライフデザイン力につながる。なお、「商業」免許状を取得する経営学科の学生は、秋学期に「職業指導」を必修科目として履修することになるので、その点を考慮して授業を展開する。																							
〔科目の到達目標〕 進路指導の歴史や理論についての基本的な理解と現代(いま)に生きる子ども達の生活・意識の実態を理解したうえで、学習分野や職業に関する情報提供、進路指導における ①人間関係形成力、②情報活用力、③将来設計力、④意思決定力の育成、⑤自己分析の支援などの指導上のスキルの習得を目指す。																							
〔ディプロマ・ポリシー(DP)との関係〕 <table border="1" data-bbox="102 1211 1422 1357"> <thead> <tr> <th colspan="4">学部</th> <th colspan="3">学科</th> </tr> <tr> <th>DP1</th> <th>DP2</th> <th>DP3</th> <th>DP4</th> <th>DP1</th> <th>DP2</th> <th>DP3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			学部				学科			DP1	DP2	DP3	DP4	DP1	DP2	DP3			○	○			
学部				学科																			
DP1	DP2	DP3	DP4	DP1	DP2	DP3																	
		○	○																				
〔学生の「授業評価」に基づくコメント・改善・工夫〕 授業スタイルと内容に関し、適宜、変更を加えて進めることがあるが、進路選択に関する「キャリア・マトリックス簡易カード(OHBY カード)」分析などの活用による自己分析、職業適性検査も実施する。																							
〔教科書〕 使用しない。(教員が作成した講義概要、資料等のプリント冊子を配布する。)																							
〔指定図書〕 田辰雄ほか『進路指導・キャリア教育の理論と実践』、日本文化科学社 チーム SMASH 著、佐藤革馬編『高校教師のための進路指導就職支援』、学事出版																							
〔参考書〕 講義の際に、適宜、紹介する。																							
〔前提科目〕 なし。																							
〔学修の課題、評価の方法〕(テスト、レポート等) 進路指導の実際について、模擬指導に関するレポートと講義中に提示した小論文に関するコメント文を提出してもらい、それぞれ 50 点満点の配分で総合的に評価する。																							

<p>【教員としてこの授業に取り組む姿勢と学生への要望】</p> <p>高校生の進路指導・職業指導・キャリア教育が本科目の視点であるが、学生諸君の自らのふり返りと将来の働き方・生き方と重ね合わせながら学修をすすめてほしい。</p>	
<p>【実務経歴】</p> <p>該当なし。</p>	
<p>授 業 スケ ジ ュ ー ル</p>	
第 1 回	<p>テーマ(何を学ぶか):進路指導の意義と課題(ガイダンス)</p> <p>内 容:進路指導とはなにか、高校生の進路の現状</p> <p style="padding-left: 2em;">*ホランドの理論に基づく事前自己チェック</p> <p>教科書・指定図書 (教員作成のプリント冊子)</p>
第 2 回	<p>テーマ(何を学ぶか):進路指導とキャリア教育</p> <p>内 容:いま、キャリア教育が求められる背景</p> <p>教科書・指定図書 (教員作成のプリント冊子)</p>
第 3 回	<p>テーマ(何を学ぶか):進路指導の歴史と諸外国の実情</p> <p>内 容:ガイダンス理論、アメリカ・ドイツ・日本の進路指導の紹介</p> <p>教科書・指定図書 (教員作成のプリント冊子)</p>
第 4 回	<p>テーマ(何を学ぶか):職業観、勤労観の形成と変容</p> <p>内 容:従来型進路指導とキャリア教育の違い</p> <p>教科書・指定図書 (教員作成のプリント冊子)</p>
第 5 回	<p>テーマ(何を学ぶか):現代における就業構造の変化</p> <p>内 容:若者の就業実態(MBAとヤッピー、ニート、フリーターなど)</p> <p style="padding-left: 2em;">終身雇用制と任期制、年俸制、正規雇用と非正規雇用、男女共同参画基本法と関連法規、女性の就労形態(M型)ほか</p> <p>教科書・指定図書 (教員作成のプリント冊子)</p>
第 6 回	<p>テーマ(何を学ぶか):職業上のシンギュラリティの周辺</p> <p>内 容:シンギュラリティとは?</p> <p style="padding-left: 2em;">グラットン教授の「働き方のリデザイン」(『ライフシフト～100年時代の人生戦略～』より)</p> <p>教科書・指定図書 (教員作成のプリント冊子)</p>
第 7 回	<p>テーマ(何を学ぶか):学校における進路指導の実際とキャリア教育</p> <p>内 容:生き方教育、キャリア教育、進路指導</p> <p style="padding-left: 2em;">キャリア発達課題と4つの能力課題、「人生 100 年時代の社会人基礎力」について</p> <p style="padding-left: 2em;">「計画された偶発性理論」と「キャリア・トランジション」</p> <p>教科書・指定図書 (教員作成のプリント冊子)</p>
第 8 回	<p>テーマ(何を学ぶか):高等学校におけるキャリア教育</p> <p>内 容:高等学校学習指導要領の内容とキャリア教育、高校生の職業と進路</p> <p>教科書・指定図書 (教員作成のプリント冊子)</p>

第9回	<p>テーマ(何を学ぶか):ホームルーム経営と進路指導</p> <p>内 容:生き方指導とホームルーム経営</p> <p>「働く」ということ、社会的自己実現について、「キャリア・アンカー」論</p> <p>教科書・指定図書 (教員作成のプリント冊子)</p>
第10回	<p>テーマ(何を学ぶか):キャリア教育の推進体制と進路指導計画</p> <p>内 容:職業、進路指導の計画と評価の活用</p> <p>教科書・指定図書 (教員作成のプリント冊子)</p>
第11回	<p>テーマ(何を学ぶか):進路指導における家庭と学校の協同</p> <p>内 容:家庭との連携</p> <p>学校の校務分掌と協同体制</p> <p>教科書・指定図書 (教員作成のプリント冊子)</p>
第12回	<p>テーマ(何を学ぶか):定時制、通信制高等学校及び特別支援学校での職業・進路指導</p> <p>内 容:定時制、通信制高等学校の進路指導</p> <p>特別支援学校での職業・進路指導</p> <p>教科書・指定図書 (教員作成のプリント冊子)</p>
第13回	<p>テーマ(何を学ぶか):進路指導に関する模擬指導</p> <p>内 容:教師のコンサルテーション、キャリアカウンセリング、アサーションほか</p> <p>*模擬指導レポート提出</p> <p>教科書・指定図書(資料プリント)</p>
第14回	<p>テーマ(何を学ぶか):職業適性検査の周辺</p> <p>内 容:SPIテスト、YG検査、OHBY カード(演習)</p> <p>教科書・指定図書 (教員作成のプリント冊子、OHBY カード)</p>
第15回	<p>テーマ(何を学ぶか):雇用と労働に関する法制度と進路指導のまとめ</p> <p>内 容:雇用と労働に関する法制度の理解(雇用契約、就業規則ほか)</p> <p>進路指導のまとめ</p> <p>教科書・指定図書 (教員作成のプリント冊子)</p>
試験	実施しない。